

わが家の愛ドル



我が家に来て約6年、ちくわが大好きで一度も病気や怪我も無く元気に走り回っています。いつも目覚ましが鳴る前に肉球で顔をチョンチョンして起こしに来ます。



禮田 みーこちゃん 10歳

愛ドル大募集!

掲載は申込順です。申込みが多数の場合同時に掲載することがあります。

秘書広報課【東庁舎】TEL0748-71-2300 FAX0748-72-1467

えんじのつぶやき

保育園や幼稚園での子どもたちのとっておきの会話を紹介するコーナー

今月は

学校法人光星学園 認定こども園ひかり幼稚園 5歳児です

クラスで飼育しているツマグロヒョウモンというチョウの幼虫が「さなぎ」になりました。

「さなぎ」には銀色のコブがあり、きらきら光って見えます。

よく見えるよう、飼育ケースを黒紙で覆うと…

Aちゃん 「光ってる！」

Bちゃん 「きれ〜い♡」

Cちゃん 「1時間でも見てられるわ〜」

Dちゃん 「ちょうちょうになっても、光るのかな？」

Aちゃん 「ほたるみたい！」

✧きらきら光る✧
「さなぎ」を見て、うっとりする子どもたちでした。



こなんPickup!

ごぼうの袋栽培に挑戦



(左) 藤井隆さん (右) 窪田匡希さん

窪田さんは湖南省の伝統野菜である東寺献上ごぼうの「献上ごぼう復刻プロジェクト」の代表として活動されています。令和7年からは滋賀県立三雲養護学校石部分教室の生徒さんにごぼうの袋栽培の楽しさを伝える活動をされています。

藤井さんはタキイ種苗株式会社を退職後、専門的な知識や経験を活かし、令和6年から三雲養護学校石部分教室の農業班に対して支援や助言を行うボランティア活動をされています。



献上ごぼう復刻プロジェクトについてはこちらから

ごぼうの袋栽培をしようと思ったきっかけと特徴を教えてください。

●通常、ごぼうの栽培は約1メートルの深さまで掘る必要があります。また、掘り起こしも難しいため、地上で簡単に行える袋栽培を広めたいという思いで始めました。袋栽培の特徴は、掘り起こしが楽で、袋を破るだけで収穫できる点です。(窪田さん)

三雲養護学校との交流についてどう思われますか？

●土に触れ、育てる喜びや大変さを知っていただけることを嬉しく感じています。そうした姿を見ると、自分自身も頑張ろうという気持ちになります。(窪田さん)

●野菜がおいしい、育てるのが楽しいと感じてもらえることが何より嬉しく、私自身やりがいを感じています。(藤井さん)

今後の思いや目標を教えてください。

●湖南省が農業を通じて活性化してほしいと願っています。農業だけでなく、教育や福祉などさまざまな分野にも広がってほしいです。(窪田さん)

●三雲養護学校の取り組みを他府県の養護学校の先生にも知っていただき、広めていただきたいと考えています。また、さまざまな農業活動を通じて、農業の楽しさや魅力を伝えていきたいです。(藤井さん)

